



水滸畫傳

下

~ 13
3560
3



門へ13
 號 3560
 卷 3

智多星吳用

黄泥の岡小走りと商少と他と湯
 其の自飽まで盗泉と飲盧家ふ
 説く賣つ八高林か毒軍ふその

八卦と精く
 見き西岳
 廣の証神官
 混天象を陣小向を
 九天玄女が五龜の
 幣と振る前兆
 凌振が石炮のいんせら
 智多の先生が此徹謀ふ
 可聖乎



早稲田 大學 図書館
 昭 34.6.3 購
 藏 書

天星三十六
機星

智多星吳用

此一個の鄆城縣小家居して。閻兒がよる小讀書と師能き。字ハ學究綽
号ハ智多星道号ハ加亮先生と稱し。胸中万里ありて。克太公
孫子孔明李靖ガ智と貯へ百八人。已も使つるを手足として。事を做
こと虚々實々。黄泥固小東京の十万貫と叙として。濟州江小
初度の宦賊何濤と水を責詰し。江州の法場あり。士農工
商の模様して。及時雨と抹拔し。軍と歸せ。獨龍岡小。祝家
の父子と謀滅し。高唐州小。高廉ガ妖軍と拗ぎ。或ハ凌振ガ夷
天炮呼延灼ガ猛勇も。一旬を経を降伏する。孔明孔賓ガ

牢苦と扶助。西岳の窟小朝て。宦卒と木石小。華州城小押よせ
て。城兵と水火とるも。或ハ北京小焼打して。盧員外ガ危急を救
ひ。軍と還せ。関勝ガ剛さを推て擒とる。遂小不背の義黨小
歸せり。曾頭市小血を漲して。晁天王の靈と慰め。兵糧船の餌
と餌て。張清と水泊小釣的八卦の隊伍十面の埋伏此謀畧小
當て。宦軍をんと魂と泥小。魄を灰小。終小王家の臣とる也。
大遼方臘田虎王慶の四大賊軍と伐て。臨で妻小應卜機小
隨ひ。火征と鳥ども胸と烘き。水攻做ども手と濡き。古今未
曾有の大師都督と謂つる。

錦豹子楊林

蘇州より濟州道へ發向。旅行の伴行あつまりや。情寂寥と。どのどのの。坡店の門より鶴首。一個の旅客が走ると看と。一瞬小



公孫勝が文章小媒せられ義兄弟の盟と結び

一里と来ふけり。這一清が話ふ所。神行大保をらんぞと。其字と呼バ彼方ふも。聲ふ應トて所顧り。見と送ふ認め面



戴宗己が甲馬と分て揚林が脚小帶せり。迺徑と急せて二仙山に走行此徑若すこの日を追ハ魯陽小戈と棄

神行大保 戴宗

地煞星七十二
員之内地暗星

錦豹子楊林

此一個ハ彰德府の人圓頭大耳直鼻方口清眉秀目宛錦豹子の
摸様ある也名混名と考も理多し諸郡の豪傑と訪尋ねんと武と蹈
文と涉來て蕪州山中ハ一清先生の教を承歡喜で梁山泊ハ
臻る途沂水縣の境上ハ神行大保が走るを怪む偕ふ話で
宋公偕と慕ふこと磁石の南ハ朝ふが像く荐び公孫勝が山ハ
到る山路半飲馬川の山寨より鄧飛孟康偕と透出し水泊義
廳ハ加まつて勇と海鯨船ハ奮ふ响ハ左義衛親軍丘岳が活首
拔て軍營と頭を陣前無敵の英雄とす

天罡星三十六
員之内天速星

神行大保戴宗

此一個ハ江州押牢の節級多し神行大保の綽号と謂ハ公私の急用ある
响ハ二の甲馬と腿ハ拴り神行の法と以て走行を卯より酉まで五百餘里四馬
用て馳る响ハ八百餘里の脚法ある緯皆會て他の知る所も識らぬ流人の宋公が
常例錢の錢穴より顔て廣水滸の交初て東京へ飛脚途中吳用ハ偶て宋公
と助けハ為の欺回輪と調て江州ハ返りて手懸の一失印より漏て黄文炳ハ毒看
され宋公同引法場を徹や首の墜んとする响晁蓋具用等危急と救ハ万死を
遁して水泊ハ身の安全と斟酌甘ん足るを連考功のをもるも智謀と走て義
用と救ハ豪友と助る緯東西南北涯を

菜園子張青

魔魅と断る。密家の九字の
法より猶怖しき十字の坡店。

羈夫這小十字斬せらる。

命と守るその身の四天も。

散く颯と風大ハ軒の酒旆

小去より火大ハ

燄鏝の脣と速り

地大ハ朗と

肉包且水大ハ

樽の酒小混

小く度人小水多と

誹らるん。瘡を



聖

あつと懼きんり

怠廢あんど戯言

巻を法語ハ厭も

ス斯る。屠野小

侶あつらひ縛るんね

生と光明精

舎の菜園

よりその

根と引く

植るならん

母夜叉孫二娘



地煞星七十二
員之内地形星

菜園子張青

此一個の原北京の人多し。年卑き頃府中光明寺の菜園を衛る縁故。菜園子と譚名せし僧侶と譚して精舎を焼殿司を殺して私奔あり。孟州小來て漂遊うち山夜叉孫元小武術を學び。刺女孫二娘と授て妻と爲。十字坡の山上小酒店と設け。過客と呼で麻酒と浮勧む。その毒環々。渾身の瘻を窺ひつ。衣と利財と奪ひ。他の肉を包み。是を鬻いで山嶺禽溪獸の風味小欺く。好て人命を屠ると芥の像と雖誓て三の不殺を持つ。二小雲遊の僧。二小の婬子妓女。三小の流人囚者。家小是等の禁断あれども。動は妻二娘誓と破て。魯智深武松の誤と做起せし。

地煞星七十二
員之内地形星

母夜叉孫二娘

此一姑ハ張青が妻多。酒店の門小客と延こと美餌を竿頭小飢。うも魚と釣が像。頭の飾ハ鐵の環と以て髻束とる。野小放花を簪とも。紅粉がも施さねど。樵婦獵女小混て着。蓬が叢小閑け。芙蓉色香の内小毒あつて。害と做こと夜叉の如し。接と選ぐる。二龍山小角を磨牙と琢荐上る。梁山泊小忠と鍊義と針。夫婦隊伍と偕ふと切と讓り。兵と助く。兵用が指揮小趨とる。蚤婦捕田女の袖振て関と破り。城をいと。這小比まれハ孟光女が隻手の乳柄小大石臼と捏露う。何のその今更奇とて讚る小足らむ。

石と見て虎と
射る箭の
それゆゑに
毛家小於菟
の争ひし
石のひとや
の苦い
うらうら母
の大蟲あつて此
兄弟と助らるゝと枉
文勺のちりみと採れり

兩頭蛇解珍



雙尾蝎解寶

宋と輔て遠と征るの夕天盧
員外が行方と尋て深く青石
硤小苦涉せり計らうしよ
獵戸る。劉二劉三
か家小次るふ。
老母信りて谷中
の順逆と指能む。
此怪りて此縁
の、嗚呼烏龍
嶺小苦死まらん。
是兄弟か
天也命也



天罡星三十六
員之内天暴星

兩頭蛇解珍

天罡星三十六
員之内天哭星

双尾蝎解寶

此兄弟の登州城外の獵戸を。兩人共身材大なるを七尺餘高力

も衆小勝され日夜も分を將渡して一の崖を過る响傷の虎小出

會毛仲義が邸へ射落す是と取んと兄弟が彼館小行て求る小毛家の父

子心善らも虎へ返さ却て誑り賺囚て索と練官司の獄小墜し孫新夫婦

是と憐れ三五の豪傑と心と勳せ畢小牢より助出さるその足とて毛家小

亂入毒父悪子と初くと家内刺さ塵小金銀刀馬奪取て宋公

明が出陣せ曾頭市の軍小加り兄解珍が功首小三男曾索が首と執

る賊官童貫が軍と追ふ鄆美畢勝と責惱し高俅が海鯨船を破

て八聞煥章と妓女們と捉入遼國の軍小青石峪小盧俊義と尋て

碓底を涉徊ること終日まれも出入路なく日全く没し愁苦

淺らざり折獵戸る劉兄弟が慈思と得夜と某家小曉し

つ猶その母小碓中の死路活路と教られ是と宋公小告聞し

遂小盧將軍と救出せり亦方臘の戦小獨松関下の竹林小

埋伏るし敵の猛將張儉張韜と擒小杭州城の軍小范

村小兵糧船と奪ひ猶城中へ火と放つ是第一の功多斯る豪傑

るりと雖哀れ兄弟一齊烏龍嶺の背山あて弩石のとも小

命と損しぬ嗚乎惜哉

病関索楊雄

厭妻中て邪と行ひ他家の
漢小艶とるとその夫とて
怒らざらんや況や勇小
傷とつひ義と損る

奸邪の巧雲快哉

山神の祠の前小

殺する悪妻

か死骸と

翠屏深く

潜せし是

妻の為るも

夫楊雄の身

のさめを



捨命三郎石秀

楊雄醉話の誤り巧雲邪京

誑されその疑の石秀の身小

覆権と雪ぐんと或

曉楊雄が殿口小邪

奸の出やとと窺

候と恰撞着内

より出る一個の

頭陀爾邪乎と

拏捕拷問せられ

随作語ると听得

特地小殺しその

直線と咱身小瀝ひ合圖小鳴を
木魚の声小他看ゆると裴如海
潜出さ刀の下法水活と血潮と
るらん是石秀が劔の母さ



天罡星三十六
員之内天罡星

病關索楊雄

此一個の河南の人を武不達一文字に通じ、面也都て黄を誹て、病
関索と混名を、蘓州城の押司不轉る日、狡猾張保們が街不坊一
と薪商夫石秀が見る不忍びを悪輩と遮攔て打倒ぬ、這義勇と奸と
盟と結で兄弟と一、飲食座卧と借不倣せ、妻潘巧雲が邪婦不酔て園中の
俛話と信ト、既不義盟と飲んとせ、裴如海が屍と見て心の迷頓不消即地
の怒と僅不堪へ先祖の墓、賽んと妻巧雲と欺出、翠屏山へ透來り大樹が根不
柶着舌と抜眼と排怨と笑て是を殺し、公難と遠く避て梁山泊の群不投平生不
石秀と隊と合せ、楊温賀重寶と捕る武勇、伍々隊々數不不瞠あらま

天罡星三十六
員之内天罡星

捨命三郎石秀

此一個の金陵建康府の人を、弱を顧て、汝然とて助剛き不醋と念
然とて打懲を、是を稱と流俗へ捨命三郎と混名を、金と破り舟と燒て
故郷と辞、蘓州不來て愈落流、城下不薪と商不比張保們數十個と打惱
て、楊雄が難と除き、義兄弟と成て、彼が館不偶居を、祭靈の席の邪婦を憎と
悪僧如海と砍殺て、楊雄が迷と解、翠屏山不女と害させ、時選と三個
路と借不、梁山泊不走ると次祝家の災起り、も宋公等が助と得とを
北京不酒樓と跳て、盧俊義と救ひ、寶嚴寺不塔と燒て、蘓州城を責
落を殺氣凜々然とて身終ると勇と減せ

石將軍石勇

隊伍と立ちの堅固と
礎の像軍小向く敵兵と

粉ふる絆確小伴う。

豪傑の名と把て

万世小傳る

こころの恰も

碑小等一

心も賢く

身も固るんべ

名字の

石く自若



地獄星七十二
員之内地醜星

石將軍石勇

這一個へ北京大名府の傭り博賭と用て過活と錦と被て遊々昼有べ
 縷と纏うて臥を夜もあま性頗強勇ふして敵者者小當ると石の塚と
 破るか像一故小石將軍と混名せり一年既小冬暮て翌天へ新歳の
 境とまも賭小勝て一身と春恵されと心と焦る射落崖と小賭場小至り
 是非と論を勝免めと思小齟齬も怒ら博倒しと石拳殿子の面目
 へ出小當人の面の両眼飛出いあや果る損を一座の他々噪々間小
 銀搔抜て故郷と走り鄆城縣小憑往宋清か書と提て宋公と尋る途中
 燕順と争いと及時雨小媒鎮られ大義と爰小結發て威と宋代小怖せり

黒旋風李達

宋公戴宗と歎待えん
と鮮魚と見る琵琶
樓前李達は怒て
張順と痛く拍と
七八拳その拳
少敵難く。
獲術ゆく
李達と拗ん
と舟と湖小
撐す李
速く指罵る
舌の根抜んぞと



●後追来ると
張順見て
獲らんと水へ
跳入り李達と

浪裡白跳張順



浪間へ拏拵
張順が身の雪より
皓く李達の墨
より猶黒し。
浮つ沈むつもろ模様
獸鳥が鷓鴣の暮とく。
驚小拵らるる髻髻
遂小送の仇解て。
潯陽江小兄弟の
盟蓋と酌約まへ。
是を誠の
水魚
う

天罡星三十六
員之内天損星

黑旋風李逵

這一個沂水縣百丈村の人。面は黑熊の像。身は鐵牛の侶。故に李鐵牛とも呼ぶ。能雙の斧と使ふ。酒狂の惡癖あり。少時江州小来り。戴宗が許小牢子とせ。法場小戦叫で。宋江戴宗と助ふこと。這人をめて第一とせ。母の迎ふ往山路小。欺李逵と殺し。酒店と粉ふる。沂嶺小母と咬む。山谷頭小怒哭し。四頭の大蟲と憤殺ふ。敵小むりて斬る首へ。獨龍岡小。祝龍祝彪十面埋伏小。段鵬拳。青石峪小賀雲真雷。毗陵郡小。高可立張近仁。奸邪と。乳直と屠る頭へ。四柳邨小狄家の姪女牛頭山小假宋公或ハ燕青小。

從之泰安州小到て。抵角の場小號狂ふ。壽張縣小遊て。心の如く戲決断を。梁より跳下詔書と裂て。陣宗善と叫殺。此外惡徒毒葦が膽と食ひ。精と掌。くろい飽を暴惡るれ。心小一斤の邪曲る。

天罡星三十六
員之内天損星

浪裡白跳張順

北一個の張横が弟ふ。江州城外小魚牙の賣主。其性水小熟練。是波上と涉と。四五十里水底小沈む。七日七夜。されども身躰掌て。疲を是縁故とめて混名と。浪裡白跳と称れ。琵琶樓上小宋公等と大義と結。

より已來、江湖中の擾、黄文炳と叙とて、安道全と迎へ、楊子江に賊張
 旺、海鯨船の邪高俵、金山寺浦に吳成と殺し、陳家の船を奪ひ、湘
 州攻の功第一、杭州城の軍少、單身西陵橋より跳投て、幾重の鈴索
 鐸網、右に潜り、左に抽、湧金門に爬上り、雲垣踏んとする音と、衝者
 の士に觀現されつ、數千の弓兵に射屈られ、水底深く遁れ、ても
 身、小寸鉄の帮板をけ、哀れ、盛壯なる豪傑も、西湖の泡と
 化し、畢ぬ、然も猛魂、空々、龍帝の慈惠と蒙り、金華大保の官と
 得て、兄張横が身とかり、五雲山下、小城主、方天定と怒殺せし、ハ
 誠、小忠義の至極、免ぬ



鐵叫子樂和

高俵、くさくさ、伴、れ、東京の邸、あり、も、
 燕青、等、謀、ら、し、樂和、の、意、通、し、金、展、
 の、外、も、索、と、投、れ、れ、柳、の、枝、に、つ、り、端、を、
 外、に、張、り、ひ、ひ、樂和、は、さ、さ、さ、と、其、珠、の、糸、を、
 と、と、知、り、出、毒、地、に、の、れ、出、し、う、を、

地煞星七十二
員之内地樂星

鐵叫子樂和

這一個ハ原茅州の傭ひらり登州城とうしゅうじょう小来こて節級せつきゅうの職しやくと務つとむ一個いっごうの娘むすめ
 と與あて病尉遲びやうゑいち孫立そんたつと智ちとせり十八盤じゅうはちばんの藝ぎと極きまとも武ぶと以もて他たと怖おそ
 さむ仁にんあまそ多く罪人ざいじん囚士しゆしと憐あはむ絆きん自養じやうやう小子弟せうしやくの如ごとく一遭いっさう顧大嫂このだいせう倅せうが
 頼たのま不隨ふずいひ解珍かいしん解寶かいほうが牢らう苦くと救きうひ八個はつごの豪傑ごうけつと宋江そうかうが陣じん小加せうかをり
 稍軍事せうぐんじと経歴けいれきして高俅かうきうが宦兵くわんぺいと破やぶるの後のち契約けいやくの為ため小東京せうとうきやう小伴せうばんは月つきと越こ
 とも是これと水泊みづはくへ返かへされ戴宗たいしゆ燕青えんせい謀合ぼうがて高俅かうきうが邸ていを出いさせり然しかして四海しやうかい
 平鎮へいぢんの日ひ此人このひと謠歌うたの妙たぎと得えられ駙馬ふま王大尉おほのおほゑい招まねきて宦禄くわんろくと得えたり
 是これ鐵叫子てつけうしの綽号あだな小依せうよるものなり

